

令和四年度 京都府公立高等学校入学者選抜

中期選抜学力検査

検査 1

国語

解答上の注意

- 1 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題は、この冊子の中の1～4ページにあります。
- 3 答案用紙には、**受付番号**を記入しなさい。氏名を書いてはいけません。
- 4 答案用紙の**答の欄**に答えを記入しなさい。採点欄に記入してはいけません。
- 5 答えを記入するときは、それぞれの問題に示してある**【答の番号】**と、答案用紙の**【答の番号】**とが一致するように注意しなさい。
- 6 答えを記号で選ぶときは、答案用紙の**答の欄**の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 7 答えを記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 8 **字数制限がある場合は、句読点や符号なども一字に数えなさい。**
- 9 答えの書き方について、次の解答例を見て間違いのないようにしなさい。

解答例

一 火曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………**【1】** 答の番号

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 北と反対の方角として最も適当なものを、次の(ア)～(ウ)から一つ選べ。……………**【2】** 答の番号

(ア) 東 (イ) 西 (ウ) 南

(2) 次の(ア)～(オ)のうち、奇数をすべて選べ。……………**【3】** 答の番号

(ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3
(エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号	答の番号	答の欄	採点欄
(2)	(1)	【1】				
【3】	【2】	【1】				
(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	ア イ (ウ)	水 曜日				
【3】	【2】	【1】				

検査					
1					
受付番号					
1	2	3	4	5	6
得点					

このページに問題は印刷されていません

— 次の文章は、「井原西鶴集」の一節である。注を参考にしてこれを読み、問い

- (1) (5)に答えよ。(12点)

この部分は著作権の関係により掲載しておりません。

〔新編日本古典文学全集〕による

注

- *しをらしく…上品に。
- *花の水…「花の井」という、井戸からくんだ名水。
- *楽助…生活上の苦勞がない人。
- *ござかしき…利口ぶって生意気な。
- *朝顔の茶の湯…朝顔が咲く時間に行われる茶の湯。
- *七つ…四時頃。
- *露路…茶室に至るまでの庭。
- *案内…取り次ぎの依頼。
- *数寄人…茶の湯に深い愛着を持つ人。
- *見すれども…見せたが。

(1) 本文中の **a** 花車の道こそ一興なれの解釈として最も適当なものを、次の

- (ア) (エ) から一つ選べ。……………答の番号【1】
- (ア) 風流の道は心ひかれるものだ (イ) 風流の道は騒がしいものだ
- (ウ) 風流の道は新たにつくるものだ (エ) 風流の道は興ざめなものだ

(2) 本文中の二重傍線部(——)で示されたものうち、主語が一つだけ他と異なるものがある。その異なるものを、次の(ア) (エ) から選べ。……………答の番号【2】

- (ア) 住みなして (イ) くませ (ウ) いふ (エ) 入れて

(3) 本文中の **b** 万に心を付けての解釈として最も適当なものを、次の(ア) (エ) から一つ選べ。……………答の番号【3】

- (ア) 多くの人に手伝ってもらって (イ) 十分な報酬を期待して
- (ウ) あらゆることを面倒に思っ (エ) さまざまなことに配慮して

(4) 本文中の **c** をかきけれは歴史的仮名遣いで書かれている。これをすべて現代仮名遣いに直して、平仮名で書け。また、次の(ア) (エ)のうち、波線部(~~~~)が現代仮名遣いで書いた場合と同じ書き表し方であるものを一つ選べ。……………答の番号【4】

- (ア) 言ふべきにあらず (イ) 定まらずひらめいたり
- (ウ) 草の戸も住み替はる (エ) 松島の月まつ心にかかりて

(5) 次の会話文は、悠一さんと絵里さんが本文を学習した後、本文について話したものの一部である。これを読み、後の問い①・②に答えよ。

悠一 本文から、もてなす側ともてなされる側が、茶の湯を好む者として

絵里 そうだね。 **B** ところから、本文に登場する客のような、
「 **A** 」でないことが読みとれるね。

「 **C** 」を相手にするとき、もてなす側が、そのような者を相手にしているのだと理解しておく必要があると分かるね。

悠一 もてなす側ともてなされる側が「 **A** 」にすることができなければ、茶の湯の味わいも十分ではなくなるんだね。

① 会話文中の **A**・**C** に入る最も適当な表現を、本文中からそれぞれ四字で抜き出して書け。……………答の番号【5】

② 会話文中の **B** に入る最も適当な表現を、次の(ア) (エ) から一つ選べ。……………答の番号【6】

- (ア) 客が「朝顔の茶の湯」を希望したのに遅い時間に来たことに対し、亭主は立腹して遠回しに客を非難するようなふるまいをしたが、客に通じなかった
- (イ) 客が日付を勘違いしたうえに反省する様子がないことに対し、亭主は腹を立てて追い返そうとさまざまな行動をとったが、客は気づかなかつた
- (ウ) 客が「朝顔の茶の湯」を頼んだのに昼前に来たことに対し、亭主は怒りが収まらずもてなしながらも声を荒げて叱ったが、客は聞き入れなかった
- (エ) 客が大変早い時間に来たうえに平然とした様子であることに対し、亭主はいらだちを覚え客を困らせるような態度をとったが、客に伝わらなかつた

【裏へつづく】

二 次の文章を読み、問い(1)～(11)に答えよ。(28点)

(1)～(8)は、各段落の番号を示したものである。

1 ギブすることは、要するに何かを「贈る」ことです。人間社会において他者に何かを贈るといふ慣習は、古今東西、幅広く見られます。一九二四年、マルセル・モースはさまざまな伝統的な社会の慣習を分析し、贈り物は一方的に贈られるだけでなく、それを受けとること、そして返礼すること。この三つが義務として行われており、それらが連鎖することで社会システムがつくりだされていることを見いだしました。

2 この力は伝統的な社会に限らず、現代でもはっきりと生き残っています。日本の年末年始に親しい関係で行われるお歳暮や年賀状なども、相互に敬意を取り交わしながら贈りあうことで共同体のつながりを意図的につくりだすための仕組みです。もっと身近な例で言えば、誰かの誕生日をSNSなどを通じて知ったときに送る、ささやかなバースデーメッセージも含まれるでしょう。ちょっと考えれば、もらった側には、嬉し^{うれ}さだけでなく、同時にお返し^{お返し}のあいさつをしなくては、という気持ち^{気持ち}が生まれることに気づくでしょう。こういった仕組みを見ると、社会の中には、 だけでは説明できない、かかわりあいを長期的に成り立たせる力が働いていることが分かります。こうした贈与の力(※^{*}互酬的な関係性)は、実は近代的な市場経済よりはるかに古い歴史を持つ、人間社会の基盤的なものです。

3 モースの着眼点は後世に大きな影響を与え、その理論を継承する人や批判する人、さまざまな視点から論^論ソウが起^起こされてきました。近代社会が行き詰まりつつある中で、贈与の概念に注目が集まり、現在では人類学を飛び越え、哲学、心理学、社会学、経営学などの分野でも話題のトピックに上がることがますます増えていきます。

4 贈与の世界は、決してユートピアではありません。原始的な分ちあいは「温かみ」を感じさせる一方で、逃れることができない「しがらみ」の重さも同時に感じさせます。そんな息苦しさから逃れたいとみんな思ったからこそ、現代ではお金で決着をつけられる貨幣経済のサービスに需要が置き換わっていったわけです。

5 しかし、貨幣経済は人間関係をドライに切り離します。しがらみを取り払おうとすると同時に、何か意味が生まれるはずだった相互のやりとりまで消し去ってしまいました。現代ではつながりが希薄になった、とよく言われますが、インフラ的な意味で言えば、ここまで常時接続が発達した便利な時代はないはず。正確に言えば、減ってしまったのは、ほっとするような分ちあいや助けあいを

【くくくくくくくく】

感じる機会、すなわち「予期せず人にギブする機会」や、「予期せず人からギブされる機会」などではないでしょうか。分断されすぎた社会をつなぐためには、貨幣経済が積極的に切り離してきた力を、もういちど考え直すことが必要です。

6 日本語の中にも、「恩送り」や「情けは人のためならず」という言葉が古くから残っています。先人たちは、見返りを期待することなく他者へ親切にすることで回り回っていつかは自分によい報い^{報い}がくるという、善意の循環が起りやすい社会にするために、行為の円環を閉じない言い伝えをしてきたことが分かります。

7 その力は、循環する関係の中に存在しており、関係は閉じられないからこそ、私たちの世界には、ゲットの原理だけでは測れないやりとりが生成されていたはずなのです。誰もがゲットしか考えないようになれば、当然、なんの広がりも起りません。たとえば、Tea toji^{*}を思い出してみてください。あの古びた人形が、なぜ現代の私たちの心を動かすかと言うと、家族が子どもに与えるものであると同時に、こどもの側も、それを通して家族に与えることができるという、相互の立場からの贈り合いを感じさせるからでしょう。

8 そう考えれば、新しい関係を生み出す原動力は、誰かが誰かの力になる／誰かは誰かから力をもらうという、贈り贈られる関係——すなわち「利他性」——から生まれていると言えそうです。利他性は、ギブの価値観を示すものです。第2章の最後に、「人は誰かの世話をしたり、誰かの力になったり、感じたことを分かちあったりせずにいられない、社会的な生き物です」と書きました。もちろん個人個人で判断は異なるものですが、ある状況では利己的にふるまう人でも、違う状況では思いやりを示したりもします。相手から信頼されることで、相手にも信頼を返そうと気持ちを抱え、ふるまい方を調整しながら日々を生きています。相反するようなゲットとギブには、そんな人間の心の複雑さが反映されているのでしょう。

(上平崇仁「コ・デザイン」による……一部表記の変更や省略がある)

注

*マルセル・モース：フランスの社会学者、民族学者。

*¹：二つのものの中に置いて、それらがほとんど等しいことを表す記号。

*ユートピア：完全に理想的な所。

*インフラ：社会生活の基盤となる施設や情報通信網。

*Tea toji：本文より前の部分に登場する、中に茶葉を詰めた人形で、カナダの遊牧民が長距離移動をする際、茶葉を運ぶという役割をこどもに与えるために用いたもの。

*第2章：本文より前の部分。本文は第7章の一部。

(1) 本文中の a それらが連鎖することとはどのようなことか。最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。……………【答の番号】7

(ア) 義務として贈り物をする慣習が続けざまに変化すること。

(イ) 義務として贈り物の贈り方が引き継がれること。

(ウ) 贈り物に関する義務としての行動が次々とつながること。

(エ) 贈り物を義務として考える人が徐々に増えていくこと。

(2) 本文中の b ささやかなの意味として最も適当なものを、次の I 群 (ア)～(エ) から一つ選べ。また、本文中の c 概念の意味として最も適当なものを、後の II 群 (カ)～(ケ) から一つ選べ。……………【答の番号】8

I 群 (ア) 遠慮のない (イ) 突然の

(ウ) わずかばかりの (エ) わざとらしい

II 群 (カ) 常に変換することがない性質への評価

(キ) おおよその内容を表す言葉に対する各自の印象

(ク) 特定の物に対してそれぞれが持つ認識の相違点

(ケ) ある物事についての本質的な意味内容

(3) 本文中の d に入る表現として最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。……………【答の番号】9

(ア) 近視眼的な損得勘定 (イ) 人間関係を維持する力

(ウ) 互いに報酬を得る関係 (エ) モーアの着眼点

(4) 次の文章は、本文中の e 大きなの「大」という漢字の成り立ちに関して述べたものである。文章中の x・y に入る最も適当な語を、x は後の I 群 (ア)～(エ) から、y は II 群 (カ)～(ケ) から、それぞれ一つずつ選べ。……………【答の番号】10

物の形をかたどることのでその物を表す漢字は x 文字に分類される。「大」という漢字は、「y」と同じく、一般的にこの x 文字に分類される。

I 群 (ア) 象形 (イ) 指事 (ウ) 会意 (エ) 形声

II 群 (カ) 本 (キ) 羊 (ク) 知 (ケ) 油

(5) 本文中の d 論ソウの片仮名の部分を漢字に直し、楷書で書け。……………【答の番号】11

(6) 本文中の f まます増えていますを単語に分け、次の〈例〉にならって、それぞれの語の品詞を示したものと最も適当なものを、後の (ア)～(エ) から一つ選べ。……………【答の番号】12

〈例〉日は昇る・・・(答) 名詞＋助詞＋動詞

(ア) 副詞＋動詞＋助詞＋動詞

(イ) 副詞＋動詞＋助詞＋動詞＋助動詞

(ウ) 連体詞＋動詞＋助詞＋動詞

(エ) 連体詞＋動詞＋助詞＋動詞＋助動詞

(7) 本文中の g 貨幣経済のサービスが人間社会に与えた影響について説明した文として最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。……………【答の番号】13

(ア) 人間関係を合理的に割り切るような考え方から救おうとすると同時に、期待していない時でも誰かと互いに助け合う関係を築く機会を奪った。

(イ) 回避することができない重苦しい関係性から解放しようとすると同時に、人と人との交流に求められてきたはずの利便性を維持する機会を奪った。

(ウ) 原始的なやりとりを行う関係から救済しようとすると同時に、普段から誰かと情報のやりとりを行うことで仲間意識を得るような機会を奪った。

(エ) 心理的な束縛を感じさせる関係性を解消しようとすると同時に、互いに共有したり援助したりして安心感を得るような機会を奪った。

(8) 本文中の h よくと意味の異なるものが、波線部(~~~~)に用いられているものはどれか、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。……………【答の番号】14

(ア) この料理は日本でよく作られる、なじみのあるものだ。

(イ) 近代の著名な画家として、彼の名前がよく挙げられる。

(ウ) 彼女の小説は、よく考えられた巧みな展開であることで有名だ。

(エ) 町を歩いていると、人から道をよく聞かれる。

(9) 本文中の「報い」の漢字の部分の読みを平仮名で書け。……………答の番号【15】

(10) 本文の段落構成を説明した文として適当でないものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。……………答の番号【16】

(ア) 2・3 段落では、1 段落で提示した話題に対する考察を述べて、論を展開している。

(イ) 4・5 段落では、2・3 段落で述べた内容を別の角度から捉え、読者に思考することを促している。

(ウ) 6・7 段落では、4・5 段落で示した内容について、さらに論を توسعهさせ、主張につなげている。

(エ) 8 段落では、7 段落までの内容を踏まえつつ、これまでとは異なる立場で主張を述べている。

(11) 京子さんと一郎さんのクラスでは、本文を学習した後、批評文を書くことになった。次の会話文は、京子さんと一郎さんが本文について話し合ったものの一部である。これを読み、下段の問い①～④に答えよ。

京子 本文中では、ギブする行為が私たちに与えるものについて述べられていたね。社会全体に目を向けると、互いにギブすることは、A

ことを目的にした社会的な工夫であり、その目的のために私たちの社会には贈るという慣習があるんだったね。

一郎 なるほど。7 段落に、誰もがゲットすることばかり考えるようであれば、「なんの広がりも起こりません」とあるけれど、ギブするようにもなれば、「広がり」が起こると言えるよね。本文から、「広がり」が起こることは、B だと分かるよ。

京子 そうだね。自分と他者が、C であることに基づく力によって、「広がり」は起こるものなんだと本文から読みとれるね。

一郎 うん。社会の中で、ギブすることが成り立っているのは、私たちが「社会的な生き物」であることによると言えるね。

京子 本文について理解が深まったね。私たちの生活には、何かを贈ること以外にもさまざまな慣習があるよ。次は身近な慣習を題材にしたポスターを見て、批評文を書いてみようか。

① 会話文中の A に入る最も適当な表現を、本文中から十八字で抜き出し、初めと終わりの三字を書け。……………答の番号【17】

② 会話文中の B に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。……………答の番号【18】

(ア) ギブする者とギブされる者の関係が揺るぎないものになることによって、ギブする者の気持ちに配慮するためのふるまいが確立すること

(イ) 自分にギブしてくれた人にギブしたり、返礼をめぐらさずギブしたりすることによって、今までになかった関係性が成立すること

(ウ) 日常的なやりとりの中にも贈り合いの精神があると知ることによって、ギブとゲットを行う関係に対して新たな感動が生まれること

(エ) 他者の利益のために贈るという行為を重ねることによって、結果的に自分が他者より多くの物を受けとる関係性が生じること

③ 会話文中の C に入る最も適当な表現を、本文中から八字で抜き出し、て書け。……………答の番号【19】

④ 批評文 を書くときの注意点として適当でないものを、次のI群(ア)～(エ)から一つ選べ。また、京子さんは批評文を書くためのメモを行書で書くことにした。行書の特徴として適当でないものを、後のII群(カ)～(ケ)から一つ選べ。……………答の番号【20】

I 群 (ア) 個人的な印象や主観を重視して対象を捉える。

(イ) 対象となるものの価値や特性などについて評価する。

(ウ) 必要に応じて参考となる資料を引用する。

(エ) 自分の意見と根拠が明らかになる構成にする。

II 群 (カ) 文字の一部分が楷書で書くときより単純化されることがある。

(キ) 楷書で書くときより筆圧の変化が少なく、画は直線的になる。

(ク) 筆順は楷書で書くときとは異なることがある。

(ケ) 連続する点画どうしがつながることがある。

検査1 国語答案用紙

二														一					問題番号	
(11)				(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(5)		(4)	(3)	(2)		(1)
㊤	㊥	㊦	㊧											㊨	㊩					
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号の
I ア イ ウ エ	<div style="border: 1px dashed black; width: 100%; height: 100%;"></div>	ア	<div style="border: 1px dashed black; width: 100%; height: 100%;"></div>	ア		ア	ア	ア	ア	論	I ア イ ウ エ	ア	I ア イ ウ エ	ア	A <div style="border: 1px dashed black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<div style="border: 1px dashed black; width: 100%; height: 100%;"></div>	ア	ア	ア	答
II カ キ ク ケ		ウ		イ	ウ	い	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	II カ キ ク ケ	ウ	II カ キ ク ケ	ウ	C <div style="border: 1px dashed black; width: 100%; height: 100%;"></div>	ア イ ウ エ	ウ	ウ	ウ
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	採点欄

検 査
1
受 付 番 号
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 10%; border-bottom: 1px dashed black;"></div> <div style="width: 10%; border-bottom: 1px dashed black;"></div> <div style="width: 10%; border-bottom: 1px dashed black;"></div> <div style="width: 10%; border-bottom: 1px dashed black;"></div> <div style="width: 10%; border-bottom: 1px dashed black;"></div> <div style="width: 10%; border-bottom: 1px dashed black;"></div> </div>
得 点

検査1 国語 正答表

二													一					問題番号			
(11)				(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(5)		(4)	(3)		(2)	(1)	
㊤	㊥	㊦	㊧											㊦	㊧						
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号の	
I ㊦	贈り贈られる関係	㊦	共同体	㊦	むく	㊦	㊦	㊦	論争	I ㊦	㊦	I ㊦	㊦	㊦	A 心ひとつ	おかしけれ	㊦	㊦	㊦	㊦	答
II ㊦										II ㊦		II ㊦									
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	備考欄	
										完全解答					完全解答						
(各)2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	(各)2	2	2	2	(各)2	2	2	2	2	配点